

平成30年度 病院医学教育研究助成成果報告書

報告年月日	平成31年 4月 3日
研究・研修課題名	不整脈治療専門臨床工学検定試験及び不整脈治療関連指定講習会・基礎編／応用編
研究・研修組織名(所属)	MEセンター
研究・研修責任者名(所属)	郷原 茜(MEセンター)
共同研究・研修実施者名(所属)	なし

区分	<input type="checkbox"/> 学会発表、 <input type="checkbox"/> 論文掲載、 <input checked="" type="checkbox"/> 資格取得、 <input type="checkbox"/> 認定更新、 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input type="checkbox"/> 単位取得、 <input type="checkbox"/> その他の成果()
該当者名(所属)	郷原 茜(MEセンター)
学会名(会期・場所、認定名等)	不整脈専門臨床工学技士
演題名・認証交付先等	日本臨床工学技士会
取得日・認定期間等	合否発表(2019.4.19)

目的及び方法、成果の内容

① 目的

アブレーションやペースメーカー業務など不整脈における質の高い治療についての普及に貢献できるようレベル向上を図ることを目的とし、不整脈治療専門臨床工学技士を所得する。

② 方法

以下の日程で講習会に参加し、検定試験を受験した。

- ① 不整脈治療関連指定講習会・基礎編
日時：2018年6月9日、10日 場所：秋葉原 AP
- ② 不整脈治療関連指定講習会・応用編
日時：2018年10月26日、27日、28日 場所：AP 大阪駅前梅田1丁目
- ③ 不整脈治療専門臨床工学検定試験
日時：2019年3月2日 場所：東京大学

③ 成果

現在、ペースメーカー業務に加えてアブレーション業務など不整脈治療に関する業務が増えてきている。ペースメーカーにおいてはメーカーが5社あり、各社特有の機能や識別機能を持っている。今回の講習会で心臓の解剖学的構造や刺激伝導系の経路・存在部位について、抗不整脈薬の作用機序やクラス分類について、ペースメーカーやICD(植込み型除細動器)・CRT(心臓再同期療法)を理解するに必要な基礎について、各種メーカーの持っている機能について学ぶことが出来た。これまではペースメーカー外来や緊急ペースメーカーチェックの際にトラブルを抱えていた患者に対して初期対応は行っていたが、その後の細かい対応などはメーカーを交えて行っていた。今回の講習会を受講したことで的確に判断を行える手助けとなり、ペースメーカー装着の患者にトラブルを生じた際、素早い対応を行うことができると考えている。

またアブレーション業務においては、アブレーションの適応疾患となる病態やアブレーションで治療する際に不整脈を起こしている部位(起源となっている部位又は、電気が回るような回路の場所)を見つけるための診断ペーシングの仕方やその結果の見方について、アブレーションの機械の種類別にそれぞれの特徴など様々なことについて学ぶことが出来た。アブレーション業務には業者さんが立ち会いしており、治療の合間に業務内容を教えてもらっている状態である。今回学んだことを理解し、業務拡大をしていくことで業者の立ち合いを無くし、診療の一助となると考えている。そのために今後私自身アブレーション業務を中心に診療に取り組んでいきたい。

講習会で学んだことを繰り返し復習し、自分の知識として定着させていき、今後より一層当院での不整脈の治療に活かし貢献できるよう精進していこうと思う。また、不整脈治療に携わる同職種に知識を共有しチーム全体の知識・技術向上を図りたい。